

釧路市立博物館創立80周年記念の取り組み

80周年プロジェクトチーム*

博物館創立80周年記念企画展

①知られざる釧路湿原(7月2日～9月25日)

湿原に生きるさまざまな動植物の中でも、あまり知られていない、湿原を支える重要な生き物たちにスポットを当て、知られざるその役割を紹介しました。

■観察会「知られざる釧路湿原の魅力発見！」

- ・釧路湿原の昆虫観察会(5月29日)
- ・じっくり観察 釧路湿原の野鳥(6月12日)
- ・釧路湿原のスゲ観察会(6月26日)

■おひさま夏休み・博物館の展示を作ろう～湿原に触れる・感じる・聞く。どっぷり浸かる1日～(8月2日・11日)

釧路湿原の鳥・植物・昆虫をテーマに、小学校3～6年生を対象として開講。1日目は調査、2日目に発表を行いました。(協賛:おひさまクリニック)

■講演会「水田は湿原である一湿地の絶滅危惧鳥類を護るためには一」(8月7日)

ラムサール条約登録湿地であり、絶滅の危機にある野鳥「オオセッカ」が世界で最も多く生息する「仏沼」(三沢市)で調査研究・保護活動を行っている高橋雅雄氏(NPOおおせっからんど)にお話をいただきました。

■上映会・講演会「釧路湿原を撮り続けた20年～炬げた「挽歌」の中塚哲夫さん～」(9月4日)

(釧路市立博物館友の会主催) 中塚哲夫さん作の映画「湿原は生きている」などの上映、共に釧路川を下った吉崎文浩氏による講演を開催しました。

②釧路・根室の簡易軌道(10月29日～1月15日)

昭和初期から40年代にかけて開拓と農業を支えた「簡易軌道(殖民軌道)」。鶴居・標茶・浜中・別海の各町・村営軌道について、関係者、関係自治体、鉄道愛好家の協力により、写真と資料で紹介します。(来年2～6月、釧路空港ビルや関係各自治体にて巡回展を実施)。

■バス見学会

簡易軌道の痕跡(廃線跡)や保存車両を見学、また当時の関係者にお話を伺い、当時を振り返ります。

- (1) 鶴居・標茶編(10月16日) (2) 浜中・別海編(11月6日)

■NHK番組で振り返る「簡易軌道と酪農の記録」

(11月12日)

主催: NHK釧路放送局・釧路市立博物館

■釧路・根室の簡易軌道講演会(11月26日)

「北海道殖民／簡易軌道」湯口 徹氏(鉄道研究家)
「唯一無二の地域遺産をどう活かすか～道内・そして全国の事例から～」名取紀之氏(㈱ネコパブリッシング編集局長・日本鉄道保存協会顧問)

■酪農・乳業と簡易軌道講演会(1月14日)

佐々木正巳氏(雪印メグミルク(株))

創立記念日〔7月14日〕記念イベントなど

①無料入館

当日は常設展示室への入館を無料としました。

②ポストカードブック

「スパカツ」「釧路駅」など、好評をいただいていた「くしろ濃縮100%」メッセージポスター全13種類をポストカードブックにまとめ、先着500名様に配布しました。

③80周年記念ミュージアムコンサート

(博物館友の会と共催)

チェリスト・原 永里子さんの演奏にて実施しました。

④マンモスホールのデコレーション

マンモスの骨格標本のまわりをカラフルなバルーンでデコレーションしました。

⑤はっくん風船プレゼント

博物館キャラクター「はっくん」の入った特製風船を小学生以下の来館者にプレゼントしました。

80周年記念ミュージアムグッズの発売

80周年を機に大幅に拡充しました(発売:博物館)



木製ペン立て(釧路管内産カラマツ材使用)・木製はっくんマグネット(同オンコ使用)・トートバッグ・クリアフォルダ・缶バッジ(7月14日発売開始)・ポストカード(今年度末発行予定)

* 石川孝織・加藤ゆき恵・戸田恭司(釧路市立博物館)

友の会)。

なお、マルハニチロ北日本(株)釧路工場製造の缶詰を使用した「博物缶」を、創立80周年と魚類展示リニューアル完成(11月)を記念して発売する予定です。

また日本郵便(株)より、フレーム切手・釧路市立博物館シリーズ【いのちをつなぐ「釧路の動物たち」】が9月1日より発売開始となりました(常設展示室のはく製を撮影)。

80周年スタンプラリーの開催

5月から来年3月までに開催する5つの企画展と、11月の魚類展示リニューアル完成、合計6つの展示を巡るスタンプラリーを開催しています。

〔ハーフラリー賞(3つ以上集めた方)〕(先着200名)

80周年オリジナルグッズ

(クリアファイル)

〔完全制覇賞(6つ全部集めた方)〕(先着100名)

「くしろ濃縮100%」ポストカードブック、博物館入館招待券(ペア)、80周年オリジナルグッズ(トートバッグ)



くしろバス車内に釧路の自然・歴史を紹介する ポスターを掲出

くしろバス(株)の協力により、6月15日から「100系統 イオン線」(博物館～イオン昭和)に、釧路の自然・歴史を紹介するポスター(12種類)を掲出しました。釧路の自然・歴史の素晴らしさ、博物館創立80周年をお伝えするとともに、公共交通機関の利用促進の一助となることも目的としています。

2016年6月14日、博物館は創立80周年を迎えます。

エソキウサギ
ユーラシア大陸に広く分布するウサギで日本では北海道のみに生息し、世界的な分布の南限種となっています。夏は、ほぼ全身茶色の毛をまとっていますが、冬は目の先端の黒色を除き、全身が純白の毛に生え変わります。食性は植物中心で、平地から高山の森林、草原など様々な環境に生息しています。夜行性のため昼間は、やみ-岩かげ-木の下に隠れていて姿を見つにくいのですが、冬は雪上に足あとがつくことでその存在を感じることが出来ます。

くしろバスに乗って
80周年の
博物館へ行く
釧路市立博物館

コーチャンフォー釧路店「学芸員の書棚」

(株)リライアブルの協力により、コーチャンフォー釧路

店にて、当博物館の学芸員がお勧めする書籍を紹介する「学芸員の書棚」コーナーを設置しました(7月14日～8月31日)。

80周年記念ブックカバーの提供

80周年を記念した博物館オリジナルブックカバーを作成し、博物館WebからPDFデータをダウンロードいただけるようにしました。

来館者アンケート・缶バッジプレゼント

創立記念日から夏休み期間にかけて、来館者(常設展示ゾーンへの入場者)にお住まいの地域をお尋ねするアンケートを実施、回答者にオリジナル缶バッジをプレゼントしました。

記事掲載・マスメディアへの出演

■新聞・テレビ報道

5月23日「博物館80周年事業続々 6企画展・展示 スタンプラリー始まる 7月には記念ウィーク」釧路新聞

6月19日「地域の自然や歴史ポスターに 釧路市立博物館 路線バスで80周年PR」釧路新聞

6月20日「創立80周年記念 スタンプラリー 釧路市立博物館」北海道新聞

6月21日「80周年 博物館へ行こう くしろバスにポスター 展示関連の解説付き」北海道新聞(夕刊)

6月28日「創立80周年 様々な催し企画」読売新聞

7月5日「湿原の生き物知って 市立博物館で企画展 クイナなど紹介」北海道新聞(夕刊)

7月10日「多彩なイベント企画 釧路市立博物館 14日に創立80周年」北海道新聞(夕刊) 7月13日「市立博物館 創立80年 はっくん 記念グッズに あす観覧無料、コンサートも」北海道新聞(夕刊)

7月13日「釧路の魅力をポストカードに」NHK

7月25日「チェロの調べ 博物館に響く 釧路市 創立80周年記念演奏会」北海道新聞(夕刊)

7月25日「チェロの調べ 博物館に響く 釧路市 創立80周年記念演奏会」北海道新聞(夕刊)

■ラジオ出演

①7月11日「市役所からこんにちは」出演:白幡敏弘(館長)

②7月14日「m-breeze」出演:加藤ゆき恵(植物)

③7月14日「テツ男・テツ子の部屋」出演:石川孝蔵(産業)

■その他

JR北海道特急車内誌「The JR Hokkaido」2016年10月号巻頭にて、当館80周年が特集されます。